



Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所

〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@oki-zamami.jp



## ●陸をはなれて海のくらしへ ーウミヘビの仲間2ー

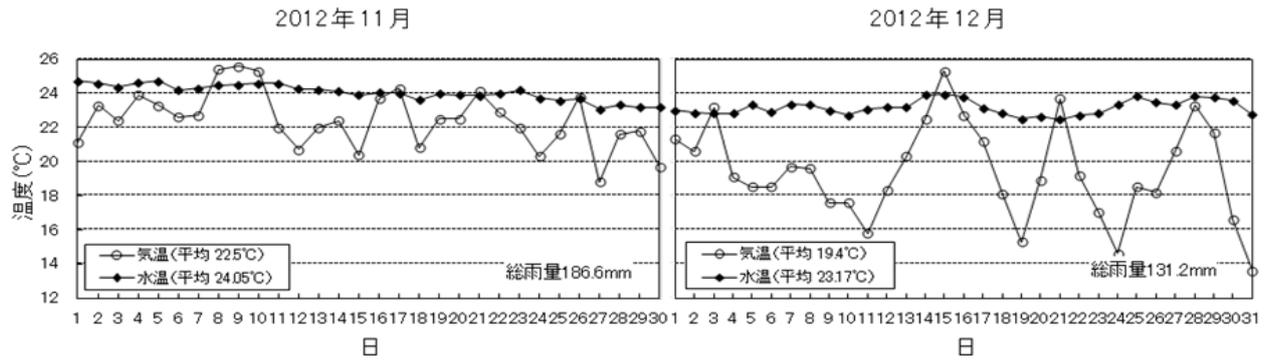
新年あけましておめでとうございます。雨が降ったり寒くなったり冬らしい1月で、海に行くのもすこし気が重い時もありますが、行ってみると案外あたたかくて、気持ちよく元気な生き物たちの姿を見ることができます。先日も海の中でたくさんの生き物を目にしましたが、今年はへび年なので、その中からウミヘビの話をしようと思います。海の中には、は虫類のウミヘビと魚類のウミヘビがいることは、以前に紹介しましたが（アムスルだより No.47）、今回はは虫類のウミヘビです。実はこの生きものについては、前にもお話したことがあるのですが（No.10）、もう少し詳しく紹介したいと思います。

みなさんの中にはウミヘビがきらいな人もいるかもしれません。これから海に

行こうとしているお客さんに「ウミヘビはいますか？」と聞かれて、「ええ、たくさんいますよ」と答えると嫌な顔をされることも少なくありません。たしかに体をうねうね波打たせながら泳ぐ姿は、見方によっては気味が悪いでしょうし、“猛毒がある”ことも良くないイメージを作る原因になっているでしょう。けれども、上手に泳げるように体の形を平らにしたり、長く潜っていられるように肺を大きくしたり、その水中生活に適応した進化の様子はとても見事です。毒にしても、たしかにハブの15倍以上の猛毒をもつ種類がありますが、それもエサの魚を捕らえるために発達させた、進化の一つと考えられます。ですから、魚の卵を主食としているイイジマウミヘビは、その必要がないので毒は弱く、<sup>牙</sup>も退化しています。

日本には9種類のウミヘビがすんでいて、そのうち慶良間で確認されているのはイイジマウミヘビ、クロガシラウミヘビ、ヒロオウミヘビの3種ですが、聞いたところではどうやらエラブウミヘビもいるようなので、全部で4種ということになります。これらのウミヘビは、大きく2つのグループに分けることができます。1つはイイジマウミヘビとクロガシラウミヘビで、ウミヘビ亜科というグループの種、もう1つは残りのヒロオウミヘビとエラブウミヘビで、これらはエラブウミヘビ亜科です。この2つのグループ

## 定点観測



は何が違うのでしょうか。エサや毒の強さでしょうか。先ほど書いたように、イイジマウミヘビは魚の卵を食べる毒の弱い種ですが、クロガシラウミヘビとエラブウミヘビ亜科の2種は魚を食べる比較的毒の強い種で、グループ分けとは関係ありません。では何かというと、実は2つのグループは、海の暮らしへの適応の度合いが違うのです。もう少しわかりやすく書くと、ウミヘビ亜科の種は繁殖するとき海中で子どものヘビを産み落とすのに対して、エラブウミヘビ亜科の種は、ウミガメのように陸に上がり、海岸の岩のすき間などに卵を産みます。もともとウミヘビは、陸にすんでいたヘビが海で暮らすようになった仲間ですから、エラブウミヘビ亜科の方が、その頃の暮らしぶりをより多く引きずっている、つまりウミヘビ亜科と比べて、まだ海中生活への適応の度合いが低いと考えられます。ウミヘビ亜科の種が、海中で卵ではなく子ヘビを産むというのも、すごい進化だと思いますが、冒頭の写真はこの間見かけたイイジマウミヘビのペアが、仲良くいっしょに泳いでいる様子で、もしかしたら繁殖行動の一部なのかも知れません。ウミヘビは毒をもった生き物なので、たしかにちょっと気味の悪いところがあるかもしれません。夜の海で手元を照らしたライトの中にひょいと出てくると、やっぱりどきっとします(ちなみに、ウミ

ヘビには夜行性のものと昼行性のもののがいて、イイジマウミヘビやクロガシラウミヘビは昼行性だと言われますが、けっこう夜でも動き回っています)。それでも、その海中での動きのなめらかさなどを見ると、ほんとにうまく暮らしているなあと感心させられます。今年も、ウミヘビだけでなく、ほかのたくさんの慶良間の生きものについて、そうした暮らしぶりの巧妙さに気づけるように目をこらしたいと思います。

## ● 阿嘉島の海より

阿嘉小学校2年生の児童二人が生活科学学習の一環で研究所にインタビューに来ました。記者の二人からは、「サンゴの卵はどうやって育てているのですか?」、「海で出会って怖かった生き物はいますか?」などといった質問をたくさん受けました。最後は、沖縄の海で見られるきれいな魚や大きな魚などを図鑑を見ながらいっしょに勉強しました。二人の手作りのマイクと記者の腕章がとてもステキでした。

それでは、今年も一年よろしくお願ひします。

